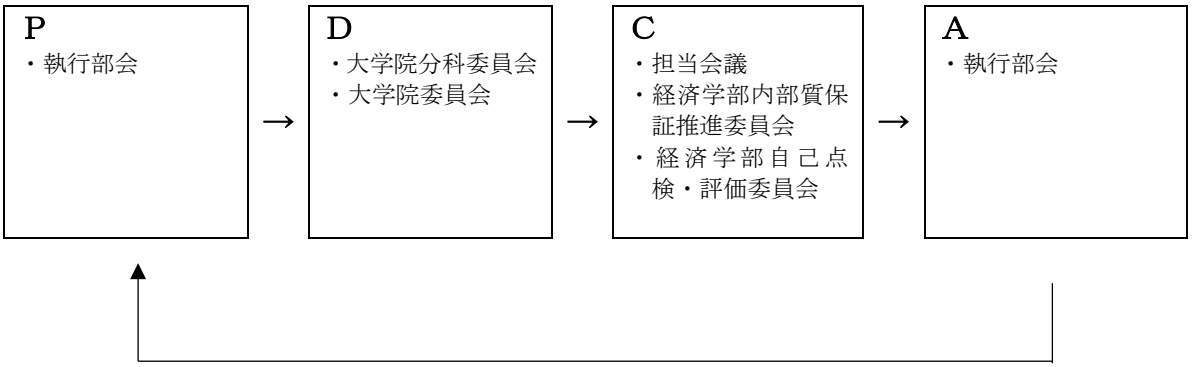
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　大学院経済学研究科

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

内部質保証体制として，学部の運営方針や改善計画を執行部会にて立案する（Plan）。その方針に基づき，大学院分科委員会における審議・決定を経て，各種委員会等が具体的な教育研究活動や業務を遂行する（Do）。これらの活動状況については，担当会議で各種委員会の運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な改善事例として，外部評価結果への対応が挙げられる。外部評価者が作成した外部評価報告書を，経済学部内部質保証推進委員会において点検・評価した際，大学院に関する課題が指摘された。これを受け，経済学部内部質保証推進委員会から大学院担当（大学院委員会）へ改善策の検討を指示した。その後，各委員会から提出された改善案が執行部会に諮られ，本研究科としての具体的な対策が決定・実行された。

その一例として，教育課程における教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）

及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の改正が挙げられる。外部評価報告書において，大学院の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の表現に関する見直しが指摘され，自己点検・評価等においても同様の課題が指摘されていた。これを受け，本研究科の教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を実態に即した内容へ変更すべく，大学院委員会で具体的な検討を行った。従来の教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）については，研究科全体に関する内容のみで，コースごとのポリシーが策定されていなかったため，教育課程の体系や授業形態等を整理し，各ポリシーに対応する内容を可視化するよう見直しを図り，コース別の具体的な改正案を策定した。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（是正勧告）】

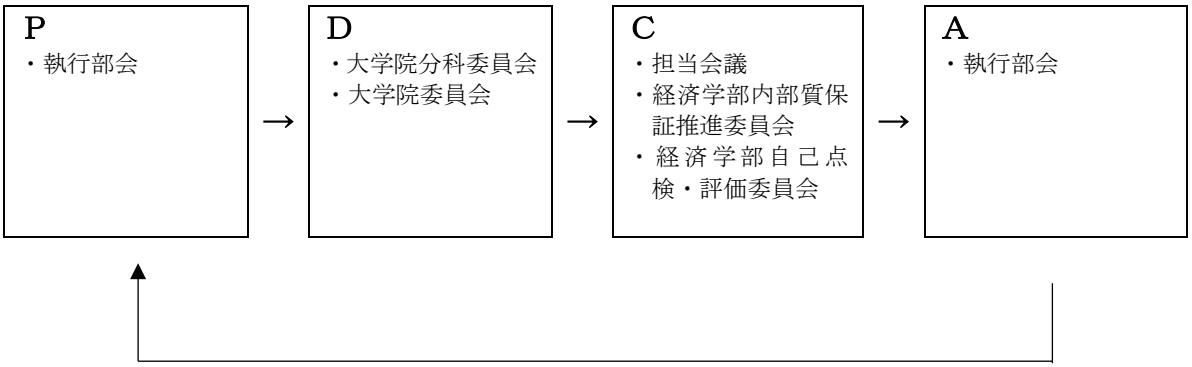
令和６年度の時点では，大学院における三つの方針の検証を，会議体において体系的に実施する取組は行われていない。そのため，研究科における点検・評価や改善にかかる活動が行われていない状況である。今後は，経済学部内部質保証推進委員会や大学院委員会等の既存組織を活用し，三つの方針の達成度や適切性を定期的に検証し，必要に応じて改善につなげる体制を早急に構築し，運用するよう是正されたい。

「令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果」で付された提言（是正勧告，改善課題）への対応について，経済学部内部質保証推進委員会において，指摘内容の事実確認及び検討を行った。その検証結果に基づき，経済学部内部質保証推進委員会名をもって，指摘事項に関連する大学院担当（大学院委員会）に対し，提言（是正勧告，改善課題）と検証所見に係る現状の課題分析及び具体的な改善策の策定を指示した。今後は，各担当部署から提出される改善計画に基づき，ＰＤＣＡサイクルを回しながら改善・向上を図っていく予定である。

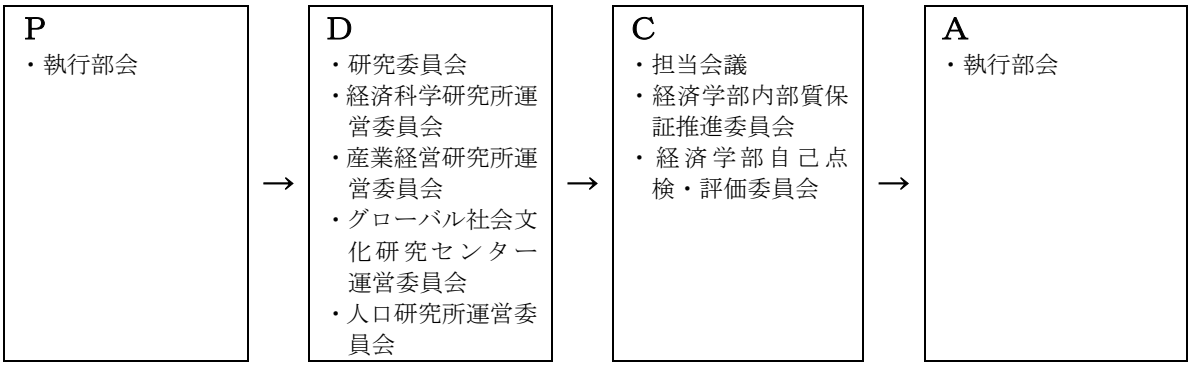
基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【教育組織に関する事案】



【研究組織に関する事案】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

経済学研究科の組織改編については，執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき大学院分科委員会の審議・決定を経て，大学院委員会で社会のニーズを踏まえつつ現在の教育組織がう

まく機能しているか検証し，必要な検討を行っている（Do)。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行い(Check)，その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる教育組織の適正化に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる(Action)体制を整えている。

教育研究上の目的に照らして，現行の教育組織はおおむね適切に機能していると判断しており，組織改編を要する状況には至っていない。

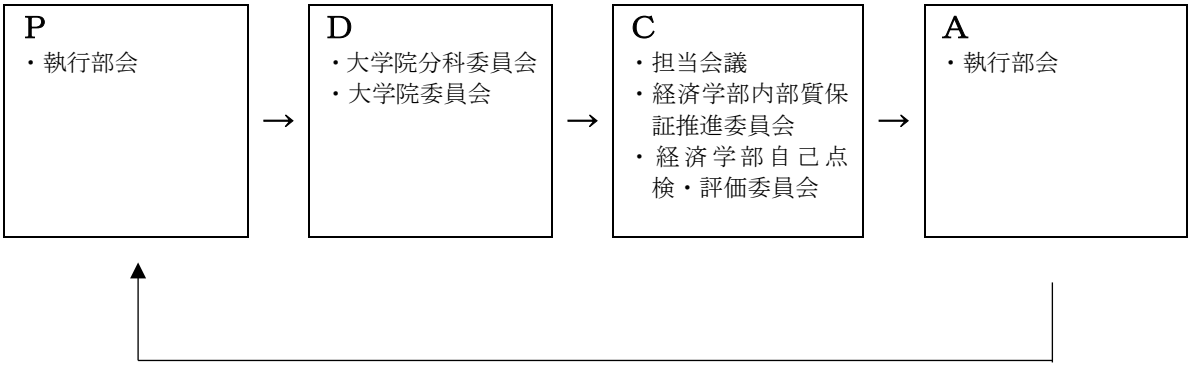
研究組織に関する事案については，執行部会を中心に，現状の問題点，課題を抽出の上，運営方針を立案し（Plan)，研究委員会，各研究所・研究センター運営委員会を経て，計画を具体化・実行している（Do)。また，これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価した（check）上で，執行部会が改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき,【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑸　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

教育課程及びその内容，教育方法については，執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき，大学院分科委員会の審議・決定を経て，大学院委員会で計画を具体化している（Do）。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている(Check)。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や教育課程の改定等について，改善策を策定し，次の計画へと反映させる(Action)体制を整えている。

令和２年度には，博士前期課程において同一名称科目の改廃・再配置を実施するとともに，博士後期課程では，研究指導科目を新たに単位化するとともに，論文指導に特化した科目を新設した。これにより，講義科目と研究指導科目を適切に関連付け，体系的な教育課程へと再構築した。

令和７年度においても，定期的な検証・評価を行い，また，外部評価の結果及び経済学部内部質保証推進委員会からの指摘事項を踏まえて，大学院委員会で改善に向けた検討及びカリキュラムの改正手続を行っている。

また，毎年，半期ごとに行っている学生による授業アンケートの結果を基に，教員が「授業改善計画報告書」を作成し，その後の授業運営の改善につなげている。なお，この報告書は，学生からのフィードバックを反映し，授業運営方法の改善を図るために活用している。

㊸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

自己点検・評価の結果及び外部評価の結果を踏まえて，大学院委員会で教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に向けて，改正案を策定した。令和４年度自己点検・評価結果に対する検証では，従来の「学びの内容に応じた関連科目を示した履修モデル」に加え，学生に身につけさせる知識・能力と授業科目との対応関係を明確にし，体系的な履修を促すことを目的として，履修系統図を策定した。

また，令和７年度には，自己点検・評価及び大学評価（認証評価）等における指摘事項を基に，大学基準協会の参考資料を踏まえ，学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）との整合を図りつつ，教育課程の体系や授業形態等の整理を行い，コースごとのポリシーを策定し，各ポリシーに対応する内容が可視化できるように教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）の改正を行った。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

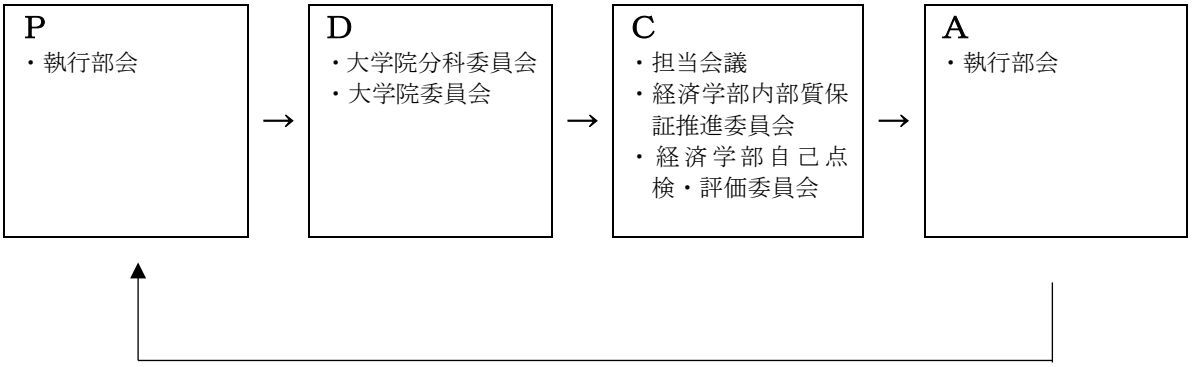
【提言（改善課題）】

令和６年度大学評価（認証評価）結果において，「教育課程の編成・実施方針について，経済学研究科博士前期課程では，編成及び実施に関する基本的な考え方を示していないと指摘されているため，改善が求められる。

「令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果」で付された提言（是正勧告，改善課題）への対応について，経済学部内部質保証推進委員会において，指摘内容の事実確認及び検討を行った。その検証結果に基づき，経済学部内部質保証推進委員会名をもって，指摘事項に関連する大学院担当（大学院委員会）に対し，提言（改善課題）と検証所見に係る現状の課題分析及び具体的な改善策の策定を指示した。大学院委員会において指摘内容の事実確認及び検討を行い，教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）のコースごとの具体的な改正案を作成し，担当会議及び大学院分科委員会の審議・決定を経て，改善を図った。今後もＰＤＣＡサイクルを回しながら改善・向上を図っていく予定である。

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生の受け入れ方針については，執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき，大学院委員会が志願者の動向等を踏まえて，選抜方法・判定基準等の検証を行っている（Do）。

また，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において，定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる適正化に向けた改善策を策定し，次年度以降の入学試験（制度）改革に反映させる（Action）体制を整えている。

改善・向上を図った事例等について特筆すべきものとしては，以下のとおりである。

(1)　令和６年度入学試験から，博士前期課程の税法コースを除く一般入学試験及び外国人留学生入学試験の選考方法を変更し，筆記試験に専門科目を課すことで，より正確な専門性に関する基礎学力の確認を行い，入学後の指導方針等に役立てることとした。

(2)　令和８年度入学試験から，志願者数及び在籍学生数の増加並びに実務経験を通じ専門領域のより深い知識の習得及び研究活動の活発化を目指し，博士後期課程社会人（実務経験者）入試を導入した。

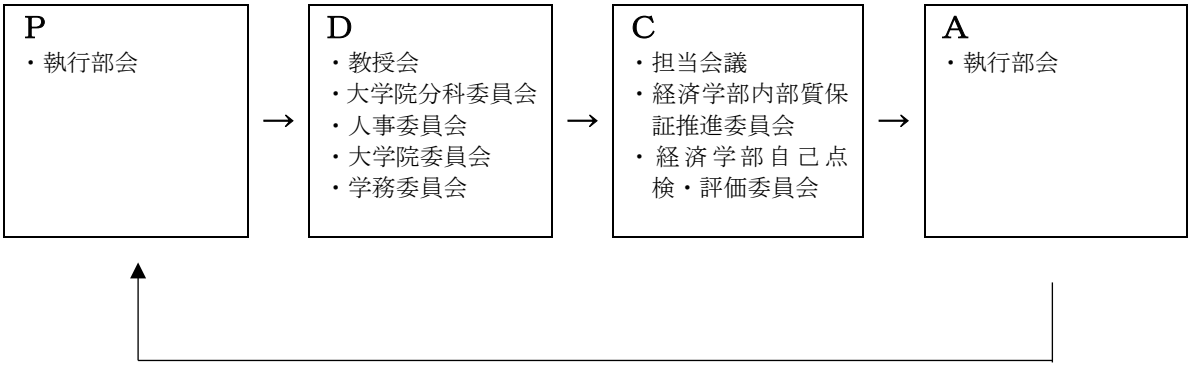
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組

むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学院設置基準や長期的な人事計画に基づき，学部等教員組織編成方針及び教員配置計画を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき大学院委員会に意見聴取をしつつ学務委員会及び人事委員会で計画を具体化し，教授会等で審議・決定を経ている（Do）。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる教員組織の適正化に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

改善・向上を図った事例として，経済学部人事関連内規等の改正が挙げられる。従来の内規等が実態に即したものではない点や「教員資格審査規程」を満たしていない点等の指摘があり，人事委員会が現行に即した専任教員採用の審査プロセスの整理，採用と昇格・再任の分化，「教員資格審査規程」第３条の導入及び審査基準の改善を行った改正案を作成した。担当会議及び執行部会を経て，教授会で審議・決定し，令和６年度から運用を開始した。これにより，人事手続の透明性・公正性の向上を実現している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学

院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

ガイダンスが個別説明のみにとどまっているため，授業補助者としての資質向上や業務の質的統一性という観点からは，体系的研修の未実施が課題であり，改善が求められる。また，ハラスメント防止や個人情報保護，学生対応スキル等，教育支援業務に必要な基本的事項の周知についても，全体的な共有機会が不足している。以上より，規程に基づいたＴＡ制度が運用され，個別の業務説明により一定の役割理解は図られているが，業務の質保証と資質向上を目的とした体系的なガイダンスや研修体制の整備が，今後の課題であり，改善が求められる。

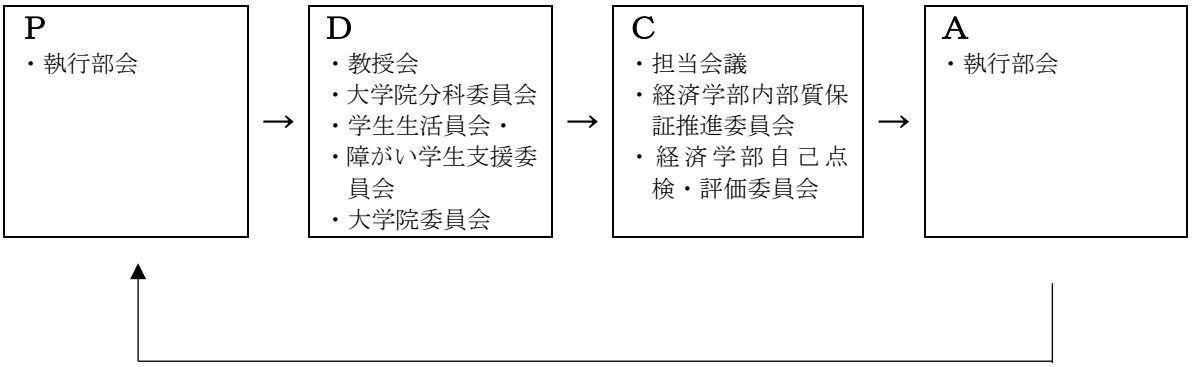
ＳＡに対する体系的なガイダンスや研修は実施されておらず，業務に必要な基本的な心構えや教育補助者としての役割理解，ハラスメント防止や守秘義務等に関する共通理解の機会が不足している点は改善が求められる。

「令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果」で付された提言（改善課題）に対しては，まず自己点検・評価において抽出された課題を踏まえ（Check），執行部会において具体的な改善方策の検討・決定を行っている（Act）。その決定内容（Plan）に基づき，大学院委員会において研修実施方針及び内容を審議・共有した上で実行に移し（Do），教務課員がＴＡに対して個別に業務内容・役割や守秘義務等の対面指導を行っている。さらに令和７年度からは，新任教員が視聴する研修動画と同様の内容をＴＡにも視聴させ，理解度確認アンケートを提出させる運用を開始した。加えて，研修内容の体系化と質的向上を図るため，執行部会での改善方針の決定（Action）を踏まえ，大学院委員会を中心として研修動画の更新や補助資料の整備を進めており，ＴＡとして求められる基本的な知識・技能（授業補助の基礎，ハラスメント防止，情報セキュリティ，学習者支援等）を網羅できるよう内容の改善に取り組んでいる。研修受講状況及び受講後のアンケート結果は，経済学部自己点検・評価委員会等において検証し（Check），その結果を執行部会での改善策の検討（Action）へとつなげている。

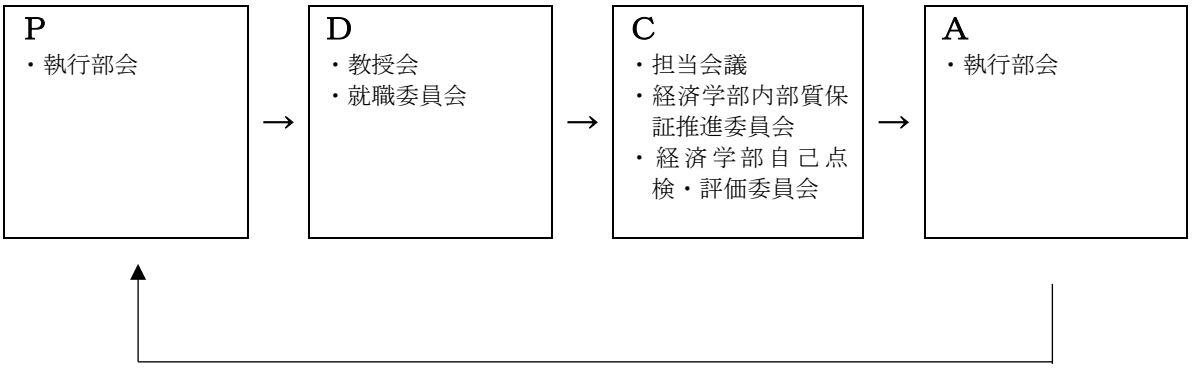
基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学生生活に関する事案】



【進路選択に関する事案】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生生活に関する事案については，方針を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき，各種奨学金及び学生生活全般における各種支援を学生生活委員会，合理的配慮の提供や障がいのある学生への支援を障がい学生支援委員会で計画を具体化し，教授会及び大学院分科委員会で審議・決定を経ている（Do）。これらの取組状況については，担当会議で運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会

で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な改善・向上を図った事例として，外部評価結果への対応が挙げられる。学外者による外部評価報告書で指摘を受けた事項に基づき，経済学部内部質保証推進委員会では，改善事項として「部活動・サークル活動支援の姿勢」及び「学生を対等な教育パートナーと捉えた支援の在り方」が示された。これらの指摘事項に対し，学生生活委員会では，学生サービスの質向上を目的とし,「学生のニーズや期待に寄り添った窓口対応や親しみやすい案内や明確な手順を提供する」及び「学内イベント等で学生が主体的に意見を述べることができる環境や意思決定に関与できる環境を整える」等の改善案を提示し，執行部会に諮られ，経済学研究科としての改善に向けた取組方針が示された。

また，障害者差別解消法の改正に伴う合理的配慮の提供義務化を受け，執行部による体制強化の指示に基づき，令和６年度から学生支援窓口の拡充を行った。具体的には，学生支援窓口に社会福祉士２名・看護師１名の計３名による有資格者体制を整備し，合理的配慮の円滑な提供及び入学から卒業まで，きめ細やかで一貫した支援が可能となった。

進路選択に関する事案については，学部及び大学院研究科で支援内容に差異はないため執行部会で立案された（Plan）学部運営方針に基づき就職委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている（Do）。これらの取組状況については，担当会議で運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

改善・向上に取り組んだ事例としては，障害者差別解消法の改正に伴う合理的配慮の提供義務化を受け導入した「修学上の合理的配慮が必要な学生のキャリア相談」が挙げられる。これは，就職指導課と学生支援室（学生支援窓口）が連携し就職支援を行う学部の方針を就職委員会で具体化したものである。相談には，キャリアコンサルタント及びメンタルヘルス系の有資格者，障がい者支援業務経験のあるカウンセラーを配置し，学生支援窓口と連携して一人一人の状況に応じたきめ細やかな就職支援体制を整えた。

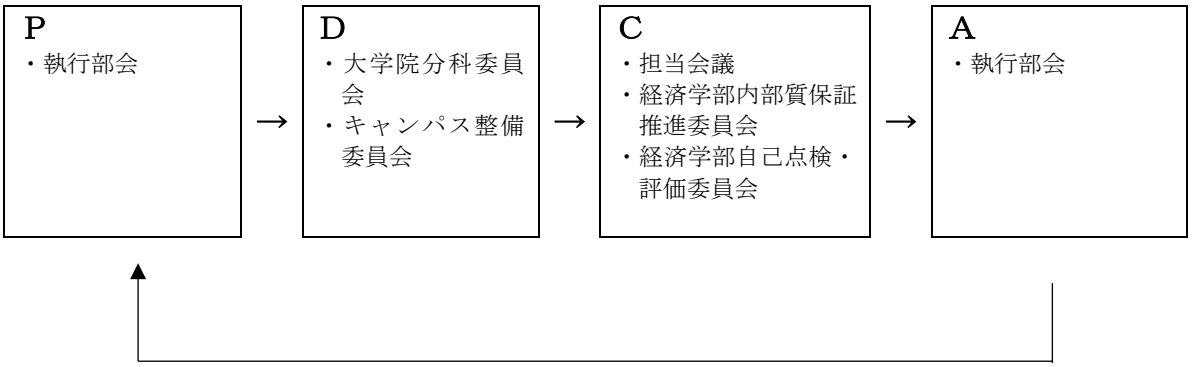
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき,【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

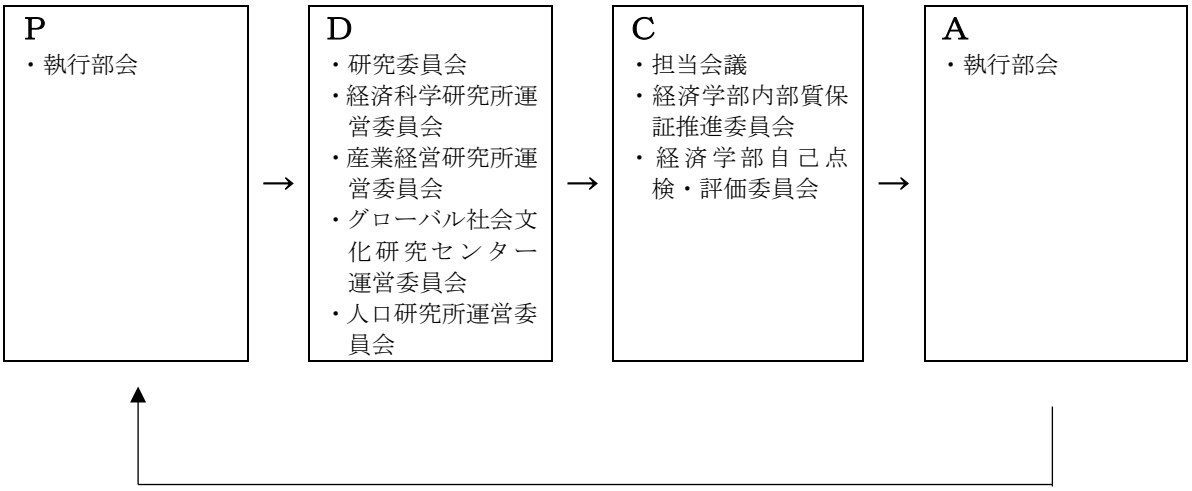
基準８ 教育研究等環境

1　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【研究室等の施設・設備に関する事案】



【研究費等に関する事案】



2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑭　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

研究等環境のうち，研究室等の施設・設備について，運営方針を執行部会で立案（Plan）し，その方針に基づき大学院分科委員会における審議・決定を経て，キャンパス整備委員会で計画

を具体化・実行している（Do）。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる環境向上に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

令和７年９月に竣工した本学部２号館の事例を挙げると，当初の計画では，各教員の研究室への洗面台の設置は検討されていなかったが，設計段階における検討・検証の過程で，コロナ禍を経て定着した新しい衛生基準や社会情勢の変化を踏まえ，個室内での手洗い・うがい等，衛生環境の確保が必要との意見があった。これを受け，執行部会及びキャンパス整備委員会で計画の見直しを行い，全研究室への洗面台の設置を決定・実行した。この変更により，感染症対策が強化されるとともに，研究活動における教員の安心・安全が確保され，より研究に専念できる環境の構築につながっている。

研究費等に関する事案については，研究する上での現状の問題点，課題を抽出の上，執行部会を中心に運営方針を立案している(Plan)。研究委員会，各研究所・研究センター運営委員会を経て，計画を具体化・実行している（Do）。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価した（Check）上で，執行部会が改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Act）体制を整えている。

具体的事例として，研究を充実させるために専任教員には申請に基づき研究費を支給し，過去２年度内に業績がある場合は上乗せして支給する。特任教授にも，研究奨励費という形で研究費を支給し，研究に専念できる環境を整えるよう努めている。

また，リサーチ・ラボを開設するに当たり，当初，利用管理システムの導入は検討されていなかったが，検討・検証の過程で，利便性の点から研究委員会で見直しを行い，導入を決定・実行した。この変更により，研究者の利用に際し，場所の予約が誰でも確認でき，希望に応じた使用に対応しやすくなり,研究活動を活発にできる環境の構築につながっている。

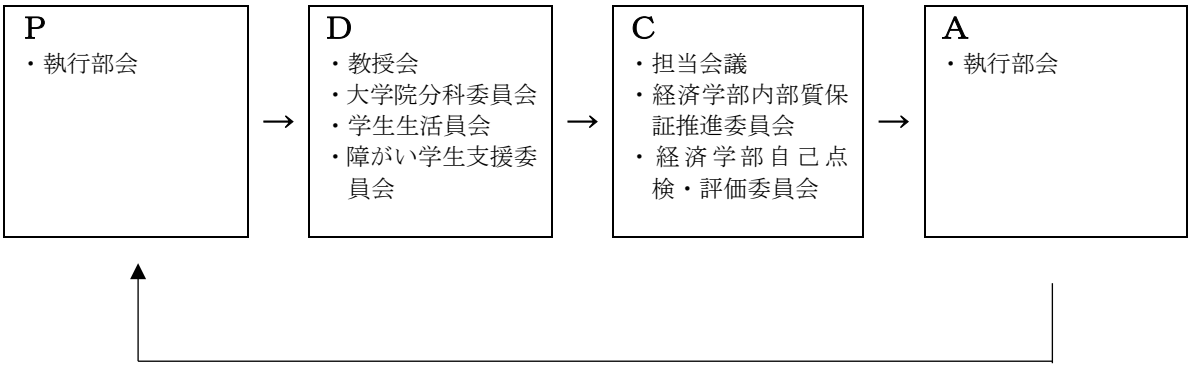
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき,【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

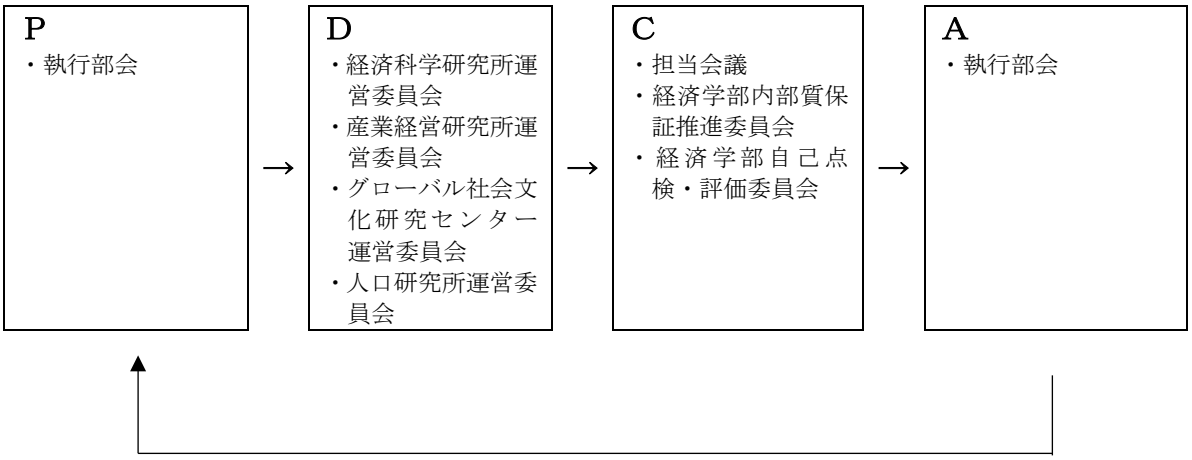
基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学生生活に関する事案】



【研究に関する事案】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

社会連携・社会貢献において学生に関わる事項については，学部の方針を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき学生生活委員会や障がい学生支援委員会で計画を具体化し，教授会及び大学院分科委員会で審議・決定を経ている。その上で，学生課又は学生支援窓口が，千代

田区や千代田区社会福祉協議会，ＮＰＯ法人，神田警察署等と連携し，ボランティア活動を含む社会貢献活動や地域連携を遂行している。これらの活動状況については，担当会議で運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check)。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な改善・向上を図った事例として，学部長が定めた「社会課題解決型学部実現に向けた方針」への対応が挙げられる。この方針を受け，学生生活委員会では，社会課題を解決するＳＤＧｓ等への取組を行う学生の課外活動への支援として，「社会課題解決型学生プロジェクト」を令和７年度に設立した。

研究に関する事案については，現状の問題点，課題を抽出の上，執行部会を中心に運営方針を立案し（Plan)，研究委員会，各研究所・研究センター運営委員会を経て，計画を具体化・実行している（Do)。また，これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価した（check）上で，執行部会が改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な事例として，各研究所・研究センターでは，学外の研究者や実務家を招いて講演会を開催し，地域住民を含む一般社会人にも公開している。講演会終了後には，参加者アンケートを実施し，寄せられた評価や改善要望について，各運営委員会で運用面を含めた協議を行っている。その改善策の一環として，周知強化のために千代田区内にポスターを掲示するなど改善・向上に努めている。また，運営委員会では，各教員から申請された研究プロジェクトについて，その成果が社会へ還元可能かという観点も含めて検討を行っている。これらの活動を通じ，大学の研究能力と企業・団体のノウハウを連携させた受託研究・共同研究へと発展させることを目指している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし